



(問合せ先) 清水海上保安部交通課
 電 話 : 0 5 4 - 3 5 5 - 0 2 2 5
 F A X : 0 5 4 - 3 5 5 - 0 2 2 6

広 報

2022 年「海の事故」の発生状況《速報値》

清水海上保安部管内（御前崎海上保安署を含む。沼津市から湖西市にかけての海域）において発生した「海の事故」の発生状況は次のとおりでした。

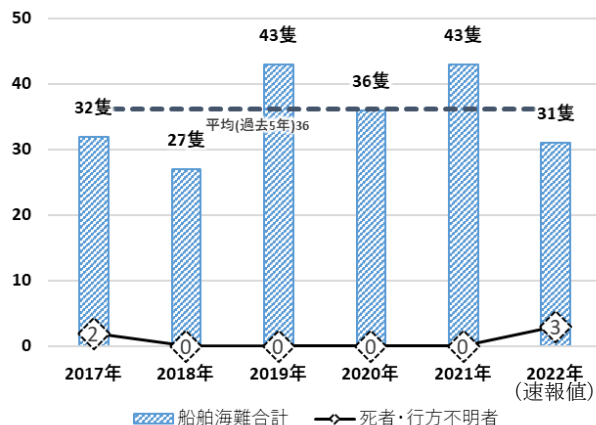
● 船舶海難は 31 隻（前年比 12 隻減少）

2017 年以來 5 年ぶりに死者・行方不明者 3 人発生

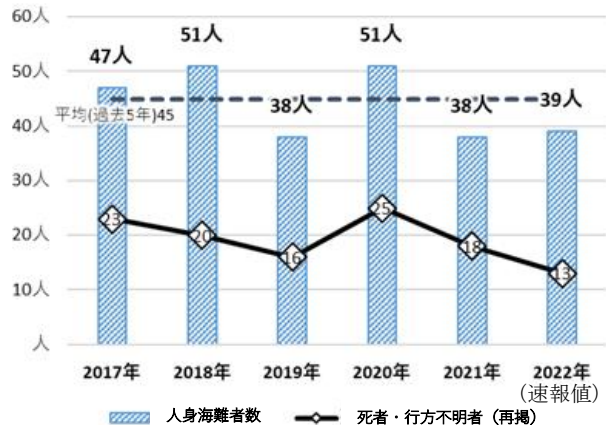
● 人身海難は 39 人（前年比 1 人増加）

このうち、死者・行方不明者数は 13 人（前年比 5 人減少）

船舶海難



人身海難



船舶海難について

- 船舶の種類別では、最多はプレジャーボート 19 隻（前年比 5 隻減）、貨物船 5 隻（同増減なし）、漁船 4 隻（同 6 隻減）の順
- 海難の種類別では、運航不能 12 隻（同 8 隻減）、衝突 8 隻（同 3 隻減）、転覆 5 隻（同 3 隻増）の順
- 死者・行方不明者は、衝突、転覆、浸水で発生

人身海難について

- 人身海難 39 人のうち、マリレジャーに伴う海浜事故 11 人（前年比 1 人減）。このうち、行方不明者 1 人（同死者・行方不明者 3 人減、過去最少※）
- マリレジャーに伴う海浜事故は、活動内容では、スクーバダイビング中 5 人、釣り中 4 人、

磯遊び中 1 人、その他 1 人の順

- 行方不明者は、釣り中で発生
- 子どもの事故（3 人）は、大人が目を離した隙に発生（同 3 人増）

※ 平成 13 年以降の人身海難の記録

今後の取り組みについて

清水地区海の安全運動推進連絡会議のメンバーなどと連携・協調し、次の事項に取り組みます。

1 船舶海難は、

悪天候下で航行した小型船舶（20 トン未満）の転覆・浸水により 2 人が行方不明となり、衝突により 1 人が死亡しました。

また、海難の多くを占める運航不能は、多くが機関などの故障や点検不足によるもので、これらは日頃のメンテナンスや発航前検査により十分に防止が可能です。

これら船舶海難の防止のため、

「自船の安全確保 3 か条」

- ① 発航前検査の実施（機関や燃料の点検、気象情報の把握など）
- ② 航行時、常時見張りの徹底
- ③ 故障時に備え、救助支援者の確保

及び、業者による定期的なメンテナンスの実施を呼びかけます。

2 マリンレジャーに伴う海浜事故は、

（1）スクーバダイビング中の事故者は、過去に遡ってみても県外居住者が占めています。

地域のダイビング業者や県外の海上保安部署などと連携し、体調管理の徹底などを周知啓発して事故防止を図ります。

（2）子どもの事故の発生や釣り中の事故の増加が見られました。

自治体、関係団体などと連携し、事故の防止を図ります。

3 救命率の向上のためには、

緊急電話 118 番通報などの発生場所が明確な救助要請により、通報後早期に救助され、溺水や低体温症の症状がなく病院搬送されない事例もありました。

「自己救命策 3 つの基本」

- ① ライフジャケットの着用
- ② 連絡手段の確保（防水パックに入れた G P S 機能付き携帯電話、複数人行動）
- ③ 緊急時における 118 番通報

を引き続き呼びかけます。

■海の安全情報

海上保安庁では Web サイト上で、事故防止の注意事項や、気象海象の現況等の提供を行っております。「海の安全情報」で検索し、最新の情報をご確認下さい。



海の安全情報はこちら

■ウォーターセーフティガイド

カヌー、SUP（スタンドアップパドル）、ミニボート、水上オートバイや釣りなどのウォーターアクティビティについて、誰もが安全に安心して楽しむために知ってほしい情報をまとめた総合安全情報サイト「ウォーターセーフティガイド」が海上保安庁HPに開設されました。是非ご覧下さい。



ウォーターセーフティガイド
はこちら

■海しる

「海洋状況表示システム」（海しる）は、“海の今を知るために”さまざまな海洋情報を集約し、地図上で重ね合わせ表示できる情報サービスです。日本の周辺海域のみならず、衛星情報を含む広域の情報を掲載するとともに、気象・海象のようなリアルタイムの情報も掲載しています。



海しるはこちら